

学校評価アンケートの自己評価結果について

立春の候、保護者の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。さて、12月に実施しました保護者アンケートに多数ご協力いただきありがとうございます。今回ものべ878名の保護者(児童数の約85.8%)の方から回答をいただき、本校教育への皆様の関心と期待の高さを感じ、大変ありがたく思っております。また、同時期に児童、教員も同様のアンケートを行い学校評価最終自己評価として下表のようにまとめました。今回のアンケートの結果を踏まえ、来年度の学校経営計画の目標等を検討していきたいと考えております。今後とも学校教育に対するご理解・ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

ア							ン							ケ							ー							ト							集							計							状							況						
児童 アンケート	1年		2年		低学年		保護者 アンケート	回答数 割合	1年		2年		3年		4年		5年		6年		総計																																									
	153人	151人	304人	131人	139人	163人			159人	143人	143人	878人																																																		
	3年	4年	5年	6年	高学年	総計			84.0%	90.3%	82.7%	89.3%	89.4%	81.3%	85.8%																																															
	195人	175人	158人	175人	703人	1007人																																																								

分		類		の		仕		方	
		低学年(1.2年)		高学年(3~6年)		保護者			
A		そう思う		あてはまる					
B1		B まあまあ		ややあてはまる					
B2	あまりあてはまらない								
C		そう思わない		まったくあてはまらない					

領域		学														力														の														向														上													
短期経営目標		国				語				算				数				の				基				礎				基				本				の				定				着																									
		低学年児童				高学年児童				低学年児童				高学年児童				保護者				教員				教員																																													
		かん字(1年ひらがな)のべんきょうをがんばって、ならったかん字(1年ひらがな)は、ほとんどおぼえた。				漢字や言葉の学習をがんばり、習った漢字は、ほとんどおぼえた。				算数のべんきょうがよくわかり、じぶんのかんがえをかいたり発表したりすることができた。				算数の勉強がよく分かり、自分の考えを書いたり発表したりすることができた。				学校は、国語、算数の基礎学力づくりに努力している。				国語科では、「言語事項」の指導を計画的に行い、児童に言葉や漢字の力がついてきている。				算数科では、指導の工夫により、児童が自分の考えを持つことができるようになってきている。																																													
前期	A	219人	71.6%	292人	41.6%	188人	61.4%	312人	44.8%	490人	55.8%	3人	11.1%	3人	12.0%																																																								
	B1	80人	26.1%	316人	45.0%	94人	30.7%	257人	36.9%	330人	37.6%	22人	81.5%	21人	84.0%																																																								
	B2			85人	12.1%	119人	17.1%	42人	4.8%	2人	7.4%	1人	4.0%																																																										
C	7人	2.3%	9人	1.3%	24人	7.8%	9人	1.3%	16人	1.8%	0人	0.0%	0人	0.0%																																																									
後期	A	220人	72.4%	343人	49.0%	177人	58.4%	337人	48.1%	506人	57.4%	14人	42.4%	5人	15.2%																																																								
	B1	78人	25.7%	284人	40.6%	102人	33.7%	256人	36.5%	352人	39.9%	19人	57.6%	27人	81.8%																																																								
	B2			67人	9.6%	97人	13.8%	24人	2.7%	0人	0.0%	1人	3.0%																																																										
C	6人	2.0%	6人	0.9%	24人	7.9%	11人	1.6%	0人	0.0%	0人	0.0%	0人	0.0%																																																									
評価および今後の取り組み		国語、算数ともに低学年児童も高学年児童も8~9割の児童が高評価をしており、保護者の評価においても97.3%と高評価であり、十分満足のいく結果となっている。しかし、算数において低学年児童の7.9%(24人)がC(そう思わない)と回答して昨年度と比較してみると倍増しており、低学年において勉強がよくわかると認識していない児童に対する取り組みの工夫が今後の課題ではないか。																																																																					

領域		豊														か														な														人														間														性														の														育														成																																							
短期経営目標		あ				い				さ				つ				の				習				慣				づ				く				り				安				全				で				き				れ				い				な				学				校				安				全				で				き				れ				い				な				学				校				保				・				幼				・				小				・				中				の				連				携			
		低学年児童				高学年児童				保護者				教員				低学年児童				高学年児童				保護者				教員				低学年児童				高学年児童				保護者				教員				低学年児童				高学年児童				保護者				教員				低学年児童				高学年児童				保護者				教員																																																																											
		「ふれあいの日」を中心に、すすんであいさつをすることができた。				「ふれあいの日」を中心に、すすんであいさつができた。				子どもたちは、すすんであいさつをしている。				児童と教職員が相互にすすんであいさつをしている。				そうじやそうじ道具のかたづけができた。				そうじやそうじ道具の片づけができた。				学校は、きれいに清掃がされている。				清掃および清掃用具の整理整頓にかかわる指導・確認を行った。				校内での歩き方・過ごし方・遊び方を考え、安全に過ごせた。				校内での歩き方・過ごし方・遊び方を考え、安全に過ごせた。				校内での歩き方・過ごし方・遊び方といった、安全を考えさせる学級指導を行った。				保・幼・小・中が連携した実践に成果を感じている。(後期のみ)																																																																																																											
前期	A	222人	73.0%	406人	58.2%	265人	30.8%	7人	26.9%	254人	83.0%	432人	62.2%	398人	46.0%	15人	60.0%	226人	73.6%	336人	48.2%	17人	68.0%																																																																																																																																		
	B1	63人	20.7%	203人	29.1%	441人	51.3%	15人	57.7%	47人	15.4%	223人	32.1%	408人	47.1%	10人	40.0%	71人	23.1%	277人	39.7%	8人	32.0%																																																																																																																																		
	B2			74人	10.6%	142人	16.5%	2人	7.7%	37人	5.3%	56人	6.5%	0人	0.0%	0人	0.0%	0人	0.0%	0人	0.0%	0人	0.0%																																																																																																																																		
C	19人	6.3%	14人	2.0%	11人	1.3%	2人	7.7%	5人	1.6%	3人	0.4%	4人	0.5%	0人	0.0%	10人	3.3%	9人	1.3%	0人	0.0%																																																																																																																																			
後期	A	223人	73.6%	400人	57.2%	277人	31.4%	9人	25.7%	223人	73.8%	450人	64.4%	429人	48.6%	22人	61.1%	183人	60.6%	335人	47.9%	22人	61.1%																																																																																																																																		
	B1	65人	21.5%	220人	31.5%	436人	49.4%	23人	65.7%	67人	22.2%	212人	30.3%	395人	44.7%	14人	38.9%	105人	34.8%	293人	41.9%	14人	38.9%																																																																																																																																		
	B2			63人	9.0%	162人	18.3%	3人	8.6%	33人	4.7%	52人	5.9%	0人	0.0%	0人	0.0%	0人	0.0%	0人	0.0%	0人	0.0%																																																																																																																																		
C	15人	5.0%	16人	2.3%	8人	0.9%	0人	0.0%	12人	4.0%	4人	0.6%	7人	0.8%	0人	0.0%	14人	4.6%	9人	1.3%	0人	0.0%																																																																																																																																			
評価および今後の取り組み		保護者のみなさん、地域の方々にもご協力いただきながら、子どもを真ん中に置いた地域ぐるみでの「ふれあい」推進に努めてきた。「ふれあいの日」の取り組みが定着し、豊かなつながりの結果として、あいさつができるようになってきている。子どもへのかかわりをいっそう広げていく具体的な取り組みを発信していきたい。														全職員による清掃指導を実践しており、清掃活動に充実感がある。しかし一方で、きれいに仕上がっているかどうかという点では、課題が残る。清掃後の反省・評価、掃除道具のチェックなどを進めていきたい。また、北校舎の廊下や階段は、開放廊下ゆえの汚れやすさがある。きれいにするための清掃方法を研究していく必要を感じている。														けがを防止する環境整備や、児童会・委員会活動の充実を図りながら、校内での安全確保に努めてきた。しかし、昨年度に比べ、教員による校内での安全な歩き方・過ごし方・遊び方の指導は不十分であった。時間を守ることをはじめ、集団生活での様々なマナーやルールの指導を大切に、落ち着いた学校生活づくりに努めていきたい。														保・幼と小学校の新しい交流を始めたが、2月に取り組む内容も残っており、低学年以外の教員に周知されていないのが評価の低い原因と思われる。																																																																																																													

